



2023年5月12日

各位

会社名 アキレス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 日景 一郎
 (コード番号 5142 東証プライム)
 問合せ先 取締役管理部門統轄補佐兼経理本部長
 河野 和晃
 (TEL 03-5338-8238)

特別損失の計上及び2023年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)において、下記のとおり特別損失を計上することになりましたので、お知らせいたします。

また、2023年2月10日に公表しました2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)の通期連結業績予想値と実績値との差異に関し、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失(減損損失)の計上について

当社グループにおける断熱資材事業の保有する固定資産について、事業環境及び今後の見通しを勘案し、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、2023年3月期において減損損失1,000百万円を計上することになりました。

2. 2023年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	83,000	△1,500	△900	△700	△45.43
実績値(B)	82,917	△713	△117	△1,204	△78.21
増減額(B-A)	△82	786	782	△504	
増減率(%)	△0.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	75,953	855	1,595	1,525	97.12

3. 通期連結業績予想値と実績値との差異の理由

売上高は、前回予想をやや下回りましたが、原材料・エネルギー価格や物流費上昇、円安の影響への対応として一層のコストダウン活動や価格改定を推進した結果、営業利益、経常利益は前回発表予想から好転する結果となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、2023年4月26日に公表しました床材事業での減損損失の計上311百万円に加え、上記の減損損失1,000百万円を計上したこと等により、前回発表予想を下回る結果となりました。

以上